



平成 31 年 4 月 16 日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマは・・・「熊本地震の教訓に学ぶ」

熊本地震から丸3年が経ちました。これまで関東大震災（大正12年）、阪神・淡路大震災（平成7年）、東日本大震災（平成23年）等、さまざまな震災がありましたが、この熊本地震は前例にない前震（4/14）と本震（4/16）からなる2回の大きな地震が発生しました。阿蘇大橋が崩れ、阿蘇神社も倒壊、JRも阿蘇へは運行不能になりました。益城町でも倒壊家屋が道をふさぎ、道路が波打ってしまい通行するのも困難な状況に。また熊本市内でも1階がつぶれた建物や液状化現象などが発生し、この後どうなるのだろうと不安にさせられました。3年経ち街も変わりつつあります。防災・減災を考えて住宅が建てられ、街の整備も進み、復興に向けた取組が進んでいます。さまざまな所から支援を受けて歩んできた3年間を無駄にすることなく、後世に伝えていけるようにしましょう。来月から元号が「令和（れいわ）」に変わります。新元号では何事もなく安全に過ごしていけたらいいですね。

熊本地震での教訓とは何か・・・

①熊本地震では車中泊が多いように思いました。

過去の震災では避難所で生活する方々が多く、車中泊はあまり記憶にありません。車の中では車の性能上あまり揺れを感じません。そこが車中泊での利点ではなかったかと思います。家に居ても、避難所にいても、大きく揺れるのは嫌ですよ。熊本地震では余震が2,000回近く確認されています。毎回揺れるたびに不安になりますよね。

②支援物資も届きにくい状況がありました。

道路は通行できない箇所があり、渋滞が発生しました。また、避難所にいる避難者だけではなく、近くの住民の方々も物資をもらうために列をつくる状況にあったかと思います。当時うまかなよかなスタジアム（現：えがお健康スタジアム）に物資は集められていましたが、なかなかうまく支給できないこともあったようです。

③窃盗や空き巣が多発しました。

家が倒壊して避難所に避難することになった。しかし、鍵をかけられず、窓ガラス等も割れていて、簡単に中に入ることができ、そのため窃盗が多発してしまいました。震災に便乗して、そういうことを考える人がいると思うと、悲しくなりますし、怒りすら覚えてしまいますね。

④子どもたちの心の病が増えました。

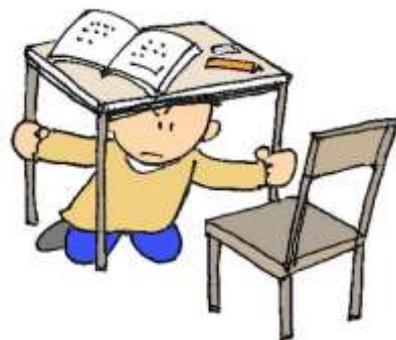
小さい子どもたちは大きな地震はとても怖いのです。部屋の中にも家具が倒れてきたり、お皿などが割れる音を聞いたら、やはり怖いですよ。実際に目の当り

にすればなおさらです。心のケアが必要な子どもたちは多い時で2,000人を超えました。この心の問題に関しては、まだこれからも必要になってきます。心的外傷後ストレス障害（PTSD）などの現象が起こるからです。たとえ時間が経っても、当時を思い出してしまい不安な気持ちにさせられます。家族、友だちと協力していくことが大切です。不安な気持ちにさせないようにしないとイケません。みんなからの「大丈夫だよ」に勇気づけられるのではないのでしょうか。

簡単に書かせていただきましたが、これ以外にもまだまだ皆さんの中にはあるかと思えます。それは皆さんが思い返してみても、対応・対策を期待しています。

学校には緊急地震速報システムがあります

熊本地震を経験し、平成29年度に緊急地震速報システムが設置されました。これは機械が地震を感知すると、敷地内に緊急地震速報が流れます。毎年行なう避難訓練や全日制では長期休業（夏休み・冬休み）前後に行なうスモール訓練でも使用します。この放送が流れたら、適切な行動が取れるようにしましょう。例えば、学校での発災は机の下に潜り、机の対角線の足を掴みます。近くに机が無い場合は低い姿勢（だんごむしのポーズ）をとり、一番大事な頭部をしっかりと守りましょう。揺れが収まれば避難経路の確保です。扉や窓を開けて外に出る準備をしましょう。倒れている・崩れている箇所は避けましょう。運動場や駐車場など近くに建物が無い所に避難しましょう。まずは『自分の身は自分で守る（自助）』です。これは家で過ごしている時、どこかに出かけている時も同じです。常日頃から非常口など確認してみてください。何かあればそこから逃げることとなります。慌てず急がず騒がずに行動しましょう。



（だんごむしのポーズ）

防災教育啓発の日

本校では毎月16日を「防災教育啓発の日」としてしています。防災意識の高揚と防災対応能力の向上を図る取組であり、この「ぼうさい通信」もその1つです。この通信は毎月決まったテーマを基に作成されますので、自分の知識や考えを深めると共に、もし災害が起こった時に正しい行動が取れるようになりましょう。



（非常口のマーク）

過去のぼうさい通信を見ることができます

本校のHPにアクセスしてみましよう。

HP <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>ぼうさい通信（毎月16日発行）